

ベトナム・チョーライ病院と第 5 回テレカンファレンスを実施(2015. 3. 26)

平成 27 年 3 月 26 日(木)国立大学附属病院の遠隔医療の幹事である九州大学の支援の下、筑波大学附属病院、ベトナム・チョーライ病院、九州大学医学部附属病院との間で第 5 回テレカンファレンスを実施されました。今回は内視鏡診断・治療をテーマとして実施しました。筑波大学附属病院からは光学医療診療部、医学生など合計 17 名、チョーライ病院からは内視鏡部及び教育研修部から約 20 名、九州大学からも内視鏡診断のために研修中のブラジル、インドネシアなど外国からの医師 5 名を含む 6 名が参加しました。

筑波大学附属病院からは内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)に関する症例提示と ESD 治療の基本的戦略に関する発表が 4 名の医師からあり、チョーライ病院側からは内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)および胃静脈瘤出血に対する内視鏡的硬化療法 (Histoacryl 法) についての発表がありました。

各発表の後、活発な討論が行われ、今回は九州大学からも内視鏡を専門とする 5 名の外国人医師が参加したため本当に国際的なカンファレンスとなりました。

今後もチョーライ病院との定期的カンファレンスのみならず、多数の病院が参加する形で広げていきたいものです。



筑波大学附属病院、光学医療診療部長の溝上先生ら 右上；九州大学、左下；チョーライ病院
右上；筑波大学附属病院



九州大学の外国人医師